

春の作品展・発表会 盛大に開催

一人暮らし高齢者のみなさんを招待！

3月4日（土）、5日（日）の2日間、高洲地区交流センターにおいて、「第26回春の作品展・発表会」が盛大に開催されました。「春の作品展・発表会」は、日頃、高洲地区交流センターで学習している人や自主グループで活動しているみなさんの1年間の学習、練習の成果の披露・発表の場であります。当日は大勢の方々が足を運んでくださり、特に、民生・児童委員の協力により、約100名余の一人暮らし高齢者のみなさんを招待することができました。そして、作品展や発表を楽しんでいただきました。



また、本年度初めての試みとして、センター玄関前でモツ煮が振舞われました。大きな釜の中ではぐつぐつと煮え立ったモツ煮が美味しそうな匂いを漂わせ、呑ん兵衛には朝からたまらないスタートとなりました。自動ドアを一步入ると、今年も「りんどう」のみなさんによる甘酒のサービスが行われ、この寒い時期、心の中までホット温まりました。

学習室の展示では、本年の大河ドラマ「女城主直虎」にちなみ、歴史愛好会の方々による直虎ゆかりの展示も注目を集めました。また、今年は折り紙グループの作品展示があり、折り紙とは思えないほどの素晴らしい作品がたくさん並んでいました。

2階西側ホールでは、食推協高洲支部のみなさんによる「減塩による健康増進」のお話もあり、美味しいお汁粉をいただきながら減塩の勉強もしました。

2日間とも天候に恵まれ身も心も大きく膨らんだ「作品展・発表会」でした。

写真：(上) 自主グループ「山百合の会」のトランポウォークの演技発表 (下) 甘酒無料サービスを行ったサークルりんどうのみなさん



平成29年度 高洲地区社会福祉協議会の行動目標

(平成29年4月～平成34年3月までの5カ年計画)

<行動目標>

あいさつと助け合いで絆をつくる高洲

<行動指針>

- ①身近な話題を紹介し、みんなに見てもらえる社協だよりにしよう
 - 身近な話題を掲載する（町内で活躍した方を特集）
 - 地域の活動内容を掲載
 - コンビニ・銀行など人目に付きやすい場所に貼らせてもらう
- ②子どもも大人も参加したくなる交流の場をつくろう
 - 企画の段階から若い世代に参加してもらう
 - ふれあいまつりの内容を検討
 - 役員が率先して誘い合う
- ③あいさつから地域への関心を高めよう
 - 家では親から率先してあいさつをする
 - 会ったら自分から積極的にあいさつ
 - みんなで参加できる声掛け習慣をつくる
- ④次の時代の地区のリーダーはまず町内から育てよう
 - 地域社会への参加を積極的に働きかけ、役割分担を決めていく
 - 子どもの頃から町内行事に参加してもらいリーダーや組織を養っていこう
- ⑤災害時の意識と行動を高めよう
 - 非常袋のチェック、非常袋100%設置を目指す
 - 防災チラシを家庭へ配布し意識を高める。配布する時に組長から防災について一言

～一年に一度は、介護予防の出前講座を

安心すこやかセンター（愛華の郷）に依頼しよう～